

# ビデオ 通信

2012年  
7月12日(木)  
No.3598

毎週月・木曜日発行  
1ヶ月 ¥11,550 (税込)  
発行：飯澤剛  
編集：齋藤浩一、齋藤知香

**ユニ通信社**

東京都千代田区神田司町 2-10  
神田司町国土ビル 2F 〒101-0048  
TEL：03-5256-1521  
FAX：03-5256-1525  
E-mail：vt@uni-press.net

GEMNOX DESIGN

## 「モーショングラフィック・デザイン・スタジオ」

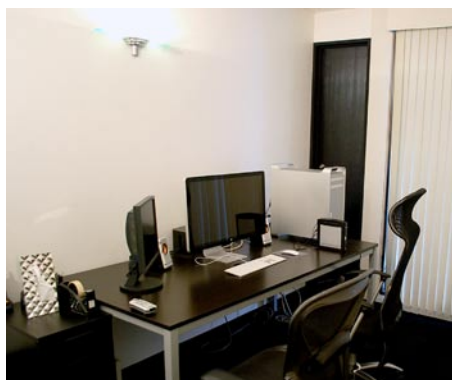
Smoke 導入によりローコストでクリエイティブ&ハイクオリティな映像制作

TVCM、ミュージッククリップ、映画などの映像企画・演出・制作、アミューズメントソフト等のコンテンツ映像開発、各種映像デザイン制作業務からクリエイターのマネジメントまで、モーショングラフィックに関する全てを扱う(株)エクスフレアのグループ会社である(株)ジェムノクスが、この春から「モーショングラフィック・デザイン・スタジオ GEMNOX DESIGN」として新たに運用を開始している。ノンリニア編集



Smoke for Mac 導入の「301st」。ディスカッションしながらクリエイティブを進めることができるのが大きな特徴

システム「Smoke for Mac 2011/2012」と「Final Cut Studio」を導入した2つの新スタジオを開設。「LOW COST & INNOVATIVE」「CREATIVE & QUALITY」をコンセプトに、“発想力”と“技術力”を併せ持ったハイブリッドモーショングラフィッククリエイター＝モーショングラフィックデザイナーが、必要最小限のシステム構成で最大限の作業効率を発揮、グループ会社のバックアップ体制も含めて、ハイクオリティな映像・コンテンツ制作環境をワンパッケージで提供していく。



Final Cut Studio を導入した「302st」

### モーショングラフィックをデザインする

ジェムノクスは2007年、グループ会社で映像制作プロダクションの(株)ジグザヴィティが制作する映像のオフライン編集など、主にインハウス用のスタジオ業務を行うことを目的に設立。一部、映画のオープニングタイトルなどのモーショングラフィックのポストプロダクションワークの受注・制作と管理作業の業務を行っていたが、この春に「モーショングラフィック・デザイン・ス

タジオ」として新たなスタートを切った。

ジェムノクスでは、「LOW COST & INNOVATION」「CREATIVE & QUALITY」という2つのスローガンを掲げている。コンセプトやモーションデザインから請け負い、コンテンツ制作を行う「モーションデザイン事業部」と、合成や編集、エフェクトなどを行う、「モーショングラフィック事業部」を有しており、ハイレンジの機材環境を全て排除し、安価でありながら最も効率的な手法を構築する一方、アートとテクノロジーが統合されたハイブリッドモーションクリエイターが「発想」「創造」を行う。

数多くのTVCM、PV、アミューズメント映像などを手がける代表取締役社長の田所貴司氏は、〈新しい「ジェムノクス デザイン」では、既存のフィニッシュワークにこだわらず、コンテンツ制作を始めから企画・デザイン・ブランディングしていく、ワンストップなデザインスタジオを目指しました。魅力は、モーショングラフィッカーを有し、キャストイングもできることです〉とする。

### カンパセーションしながら作業を進めていく「301st」



大きな窓から自然光も差し込む「301st」

Soft : Smoke 2011 ext1、Smoke 2012、Smoke 2012 ext1 / プラグイン : Sapphire5、Sapphire6 / Hard : iMac 27inc / OS : Mac OS X Lion 10.7.2 / プロセッサ : 3.4GHz Intel Core i7 / メモリ : 16GB / ハードディスク : 10TB

ティングスペース」というコンセプトを掲げている。スタジオ内は白を基調に石造り風の壁紙を施し、ブラインドを開けると自然光が差し込む全面ガラスとなっており、編集環境のほか大きなミーティングテーブルが設置されている。また、「キッチンとした製品を生み出すには、キッチンとした環

ジェムノクスでは、「ソフト」「サービス」「ハード」「人材」がワンパッケージとなって一元化されている環境を提供していくための設備として2つの新スタジオを整備したほか、グループ会社である(株)エクスフレアと(株)ジーグラヴィティの2社による完全バックアップ体制を構築している。

スタジオは、Autodesk Smokeをメインとした「301st」、Final Cut Studio 導入の「302st」の2つ。

「301st」は、これまでのポストプロダクションにはない“ミー



(左から) エントランス、ラウンジスペース、ミーティングルーム

境が必要」という田所氏のポリシーから、特に“清潔感”にこだわった。

〈編集には不可欠である「プレゼンテーション」を始め、カンバセーションしやすい環境を心がけています。つまり、「お客様の要望にお応えする」ではなく、「お客様と一緒にものづくりをしていく」という、ジェムノクスのスタンスに最適な環境だと考えています。自分は基本的にデータが整理されている人間だと思っています。バッチシステムも、常にロジック的になりやすく、カテゴリゴライズしたいと考えています。それが整理できない人は仕上がりも整理できない。また、服装にも気を遣っています〉(田所氏)

メインクリエイターとして「302st」の作業に携わるモーショングラフィッカーの小嶋一徹氏は、〈多くのポストプロダクションには「押し込められている」といった感覚がありますが、301stには窓があり、かなり気分転換ができると思います。CM や PV、その他の映像制作を Smoke で行っているポストプロダクションは、まだそれほど多くありませんが、当社では既に Smoke による作業を始めており、他社より一歩リードしていると自負しています〉とする。

### Smoke の存在は不可欠

モーショングラフィックの企画・コンセプトから運営管理、クオリティ管理まで行いながら、合成やモーショングラフィックのスタジオワークもこなす「モーショングラフィック・デザイン・スタジオ」という試みに同社が挑戦するためには、「Autodesk Smoke」の存在が不可欠だったという。

〈今まで、オールインワンに近いソフトウェアとして Flame は唯一無二でしたが、操作性やスピード、安定性などは Flame に適わないものの、多くの CM や PV などの映像制作に必要な機能が揃った安価な Smoke for Mac が登場しました。Smoke は非常に将来性のあるシステムだと考えており、今後、業界全体が Smoke を軸に変化していくのではないかと考えています〉(田所氏)

一方、「302st」ではディレクターやエディターが落ち着いた環境で作業を進めることができるほか、クライアントを呼んでプレゼンテーションもできる環境となっている。

また、MA に関しては、(株)音響ハウスやマックレイ(株)との連携により進めていくほか、ジーグラヴィティによる撮影業務も含めて、映像制作に対するワンパッケージのサービスを提供していく環境が整っている。

〈撮影するカメラによって、フォーマット変換やカラーグレーディングのタイミングなど、仕上げのワークフローも変わっていきます。コストや時間を抑え、よりクオリティの高い映像を作り出すには、企画の最初の段階から参画し、様々なことを詰めていくことが非常に大事だと考えています〉(田所氏)



クライアントスペースも装備した「302st」  
Soft : Final Cut Pro 7.0.3、Photoshop CS5、Illustrator CS5、After Effect CS5 / Hard : Mac Pro / OS Snow Leopard 10.6.8 / プロセッサ : 2 × 2.93GHz 6-Core Intel Xeon / メモリ : 16GB / ハードディスク : 2TB

## モーショングラフィッカーを「探す」ではなく「作り出す」



(左から) クリエイティブマネージャーの長谷千夏氏、代表取締役社長の田所貴司氏、モーショングラフィッカーの小嶋一徹氏

常に繰り返されるシステムやソフトウェアの進化の中からベストをチョイスできる人が不可欠だと思います〉(田所氏)

同社では、平成15年に、自ら“発想”するクリエイティビティと、いい映像を作る“技術”を持つ人材「モーショングラフィッカー」を商標登録しており、ジェムノクスではそうした人材を「探す」のではなく「作っていく」という試みに挑戦していくという。オーディションを開催することで全国から優秀な人材を集め、1年かけて育てあげながら、随時現場に投入する。なお、「モーショングラフィッカー オーディション2012」については、詳細が決定次第、発表する予定。

田所氏は〈“発想力”と“作業力”の両方を持った1人のクリエイターによる手腕ではなく、誰が手がけても同様の映像制作が実現できるサービスを安定供給できるような体制づくりをしていきたい。もちろんスタジオワークのみの業務も受注しますが、基本的には“発想”の部分からお任せいただければ、最高の作業&コスト効率で納品できます。今後のポストプロダクションやデザインハウスにとって、それが大きな魅力になっていくのではないかと考えています。クリエイターになりたい人がストレートに入ってもらえる「場」となり、世の中にモーショングラフィッカーがどんどん育っていけば嬉しいと思います〉と話している。

◇ GEMNOX DESIGN (ジェムノクス デザイン) <http://gemnox.com/>

東京都中央区入船2-3-7 築地第二長岡ビル3F TEL03-3555-0889/FAX03-3537-8786

さらに、ジェムノクスが目指す映像制作には、Smokeを導入するだけでなく、Smokeによってワークフローを組み立て、ものづくりを“発想”できる人材を同時に揃えていくことが必要だ。

〈多くのコンテンツ映像の制作に対してハイスペックのモンスターマシンが不要になってきた今、「技術」と「クリエイティブ」の両方を同時に考えられる人、